

劇団「松ぼっくり」のけいこ風景。団員のほとんどが通院患者というユニークな劇団だ



# 汗や冷にこいけい

## 患者、看護婦さんらの劇団誕生

### 病氣不安解消など目的

「松ぼっくり」7月に旗揚げへ

病氣への不安を解消し、生活の励みになれば、と通院患者らを対象に健康教室や文化活動などのユニークな試みを続けている八尾市東本町三の医院「松尾クリニック」(松尾美由紀院長)にこのほど、通院患者や看護婦らでつくる劇団「松ぼっくり」が誕生、七月には旗揚げ公演をすることにしており、団員たちは舞台げいに励んでいる。

同医院は開業して七年。短い診察時間以外に患者とのつながりを持つと、心臓病などの病氣に関する教室や七宝焼、書道などの文化教室に医院を開放するなどの活動を続けている。

劇団の結成は、患者が病院で演じることによって、これまでのスライドなどを使った健康教室より、効果があるのではないかと松尾院長が一年前から考えていた。

やるからには本格的にやると、脚本をプロの放送作家に依頼し、松尾院長も駆け付け、熱の入ったけいこが続けられた。

市長役で出演する川崎鉄夫さん(右)は「練習なのに冷や汗が流れっ放し。でも本番まで時間があるので氣楽にやります」と話していた。

本番は七月十六日、同市光町の市文化会館で行われる予定。

### 八尾 松尾クリニック

「松ぼっくり」が誕生、七月には旗揚げ公演をすることにしており、団員たちは舞台げいに励んでいる。

同医院は開業して七年。短い診察時間以外に患者とのつながりを持つと、心臓病などの病氣に関する教室や七宝焼、書道などの文化教室に医院を開放するなどの活動を続けている。

劇団の結成は、患者が病院で演じることによって、これまでのスライドなどを使った健康教室より、効果があるのではないかと松尾院長が一年前から考えていた。

やるからには本格的にやると、脚本をプロの放送作家に依頼し、松尾院長も駆け付け、熱の入ったけいこが続けられた。

市長役で出演する川崎鉄夫さん(右)は「練習なのに冷や汗が流れっ放し。でも本番まで時間があるので氣楽にやります」と話していた。

本番は七月十六日、同市光町の市文化会館で行われる予定。